

# 有形固定資産(1)

問題集p.35

# 有形固定資産の内容

- (1)建物                      このうち、「建物」・「車両運搬具」・「土地」は、3級範囲と同じ。
- (2)構築物                   「建物」は決算でも出てくるので、減価償却（定額法・定率法）は復習しておくこと。
- (3)機械装置                「工具器具備品」は3級の「備品」とほぼ一緒。今までほとんど出な
- (4)船舶                      かったが、近年仕訳で出題されたことがある。決算では「備品」の減価償
- (5)車両運搬具              却が必ず出題される。
- (6)工具器具備品           「構築物」・「機械装置」・「船舶」はたまに仕訳で出題される。内容
- (7)土地                      的には難しくないが、急に出題されると焦る。問題上の勘定科目群を見れば使う勘定科目は必ず書いてあるので、漢字を間違わないように落ち着いて対処する。
  
- (8)建設仮勘定             これが新しく出てきた勘定科目で一番出題される。（仕訳・決算とも）  
建物・構築物・機械装置などを購入するときに工期が長期間(会計期間をまたぐような)になる場合、使用する。仕訳は、例の通り。  
書き間違いやすい勘定の一つである。誤答例：建築仮勘定  
決算の時に間違いやすい勘定でもある。**有形固定資産**であることを覚えておく。

# 有形固定資産の取得原価・資本的支出と収益的支出

有形固定資産の取得にかかった諸費(諸掛・付随費用)はそれぞれの勘定科目に含める。  
→例の通り。3級範囲と同じルール。

資本的支出	使用開始前の仲介手数料・引取費・据付費・試運転費など(上記のこと) 使用開始後の改良による耐用年数の延長・増築・増設などのための支出。 (改良により、資産価値が向上(資産の増加)しています)
収益的支出	修繕費など (修理しないと、その資産が使い物にならない状態。費用が発生)

「資本的支出」「収益的支出」という言葉に戸惑う人が多数います。仕訳の問題などで、この言葉が出るので、覚えてください。

【畠山の覚え方】

**資産価値が向上する場合**、貸借対照表に最後に載る。貸借対照表に載っているのは「資本」だから**資本的支出**。  
**費用がかかった場合**、損益計算書に最後に載る。損益計算書に載っているのは「収益」だから**収益的支出**。